

報町利由東

6/1

No 327 昭和57年 6月1日発行 毎月1日発行

昭和57年

No. 3 2 7



力走・大会新二つ

町小・中学校連合体育大会

「フレイフレイ〇〇小」「ガンバレガンバレ〇〇小」

―町小・中学校連合体育大会が五月二十五日、台山グラウンドで行われ、四年生以上の児童・生徒四百四十余人が走・跳の各種目に熱戦を繰り広げました。

この日は、心配された天気も晴れのちくもりでまずまずのコンディション。子供たちは、日ごろの練習をいかに発揮、五年女子百メートルで大夢小の池部留美さんが十四秒九、六年男子二百メートルで八塩小の八嶋和人君が三十一秒一の大会新をマークするなど、好レースを展開しました。

会場には、父母らが農作業や会社を休んでおわぜい応援にかけつけ、我が子や我が孫の力走に大きな声援を送っていました。

大会のハイライトはなんといってもリレー競技。スタートラインに着く前から各校応援団、父母らは総立ちで、旗を振り、太鼓をたたいて選手を激励。ゴール前のデッドヒートには、ピストル音も聞こえないほどの大声援が初夏の台山一帯に響いていました。

町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心

臨時議会

八塩小 建築契約を議決

今年中に新校舎完成

町議会第三回臨時会は五月三十一日に招集され、八塩小学校建築工事請負契約の締結についてなど六議案を審議、いずれも原案どおり可決して閉会しました。

これにより町では、三学期

から新校舎で授業できるよう八塩小建築工事を進めていくことにしています。

【八塩小学校建築工事請負契約締結について】

○契約の方法 指名競争入札
○本体工事

・契約金額 二億八、八五〇万円
・契約の相手方 株式会社池田工務店（本荘市、池田寛治代表取締役）

【林道ボツメキ線開設工事請負契約締結について】

○契約の方法 指名競争入札
○契約の金額 三、一六〇万円
○契約の相手方 柳沢建設

・契約の相手方 山二施設工業株式会社（秋田市、阿部永三郎取締役社長）
・電気設備工事
・契約金額 一、三三二万円
・契約の相手方 東北電気工事株式会社本荘営業所（本荘市、田口博所長）

・（蔵、柳沢きえ代表）
○開設工事延長 五〇〇日
【専決処分の承認を求めることについて】

歳入歳出それぞれ二十億六千七百七十四万三千円とした。
歳出補正は、財政調整基金積立金。

○昭和五十七年度町一般会計補正予算（第一号）

歳入歳出補正の総額にそれぞれ五百四十三万円を追加し、歳入歳出それぞれ二十二億二百九十万八千円とした。

歳出補正は、軽井沢農免農道整備事業に伴う住家移転補償費。

子供と歯



むし歯予防は、まず歯みがきから

よい歯で
よくかみ
よいからだ

6月4日～10日歯の衛生週間

子供のむし歯は一生ひびく

乳歯は永久歯の水先案内人

子供の歯——乳歯はいずれ永久歯に抜け代わるのだから、少々むし歯になってもたいしたことはない——などと軽く考えていては後々とり返しのがつかないことになりますからご注意ください。

六、七歳になると、乳歯がぶらぶらになって、やがて抜け落ちますが、この乳歯こそ

心身の健康と切っても切れない関係にある歯——その歯をいつまでも丈夫に保つには、むし歯や歯周疾患（いわゆる歯そうのうろう）といった歯の病気に罹らないよう、ふだんから歯を清潔に保つことが大切です。歯の「健康保持」はまずむし歯予防から——ということから六（む）月四（し）日から一週間「歯の衛生週間」が行われます。

歯並びが悪いのは、顔だちにひびくばかりでなく、むし歯や歯そうのうろうの原因になります。

むし歯の痛みがひどいと、子供は心身ともにまいってしまい、その結果は食欲不振、偏食という悪循環をたどることになります。発育ざかりの子供の身長や体重の横ばい状態がよくみられるのも、むし歯が原因である場合が多いのです。

また、むし歯のために微熱が続き、リンパセンがはれ、さらに心臓病や腎炎などの全身病を起こす場合もあります。

そのほか、むし歯がひどいと、人前に出てもひげ目を感じたり、正しい発音ができにくいため、話すのが苦痛となり、内向的な性格になることもあります。そして、場合によっては知能の発達にまで影響を与えることがあるといわれます。乳歯を大切に！

〈町歯科健診状況〉

年別	むし歯のある子供の割合	一人当たり平均
昭和53年	7.5%	3.3本
54	9.6	3.1
55	5.8	3.2
56	9.2	2.5
一歳六カ月児		
53	90.7	5.3
54	81.7	5.9
55	86.2	6.4
56	62.5	5.9
三歳児		

残念ながら、日本の子供たちの「むし歯保有率」は、他の疾患に比べたいへん高いことが明らかにされています。

昭和五十二年度に、幼児の歯科健康診査をそれまでの三歳児だけでなく、一歳六カ月児にも行うようになったのもこのような背景からです。

を阻止できるのは、お母さん方の歯科衛生知識と子供に対する愛情であるといえます。

三歳児の63%は

むし歯にかかっている

厚生省の調査によると、二歳の「むし歯保有率」は一歳の約五倍になっています。つまり、むし歯予防は一歳から二歳にかけての間が「勝負どき」なのです。

三歳児の63%はむし歯にかかっている。昭和五十二年度に、幼児の歯科健康診査をそれまでの三歳児だけでなく、一歳六カ月児にも行うようになったのもこのような背景からです。

もう漏水の心配なし

松の沢・老朽ため池改修



真新しい地肌の土手をバックに、改修を喜ぶ受益者

もう漏水の心配いりません
昨秋、土地改良総合整備
事業で実施した、松の沢（野
田地内）老朽ため池改良工事

の完成祝賀会が四月二十八日、
関係者二十人余りが出席して
野田部落会館で行われました。
松の沢には三つのため池が

あり、五・一七畝の水田をか
んがいています。しかし、
いずれも老朽化し、漏水もひ
どく、豪雨のときは破堤の心
配をしなければならぬこと
などから、早期改修が望まれ
ていました。
今回整備したため池は、縦
列する二つで、堤体（土手）
や底樋、斜樋、用水ばけなど
を補強改修。事業費は四百九
十八万八千円、うち二百六十
三万三千円が国・県からの補
助金です。
この日、祝賀会を前に堰普
請をした受益者らは、改修さ
れた真新しい地肌の土手に立
ち「見違えるほどりっぱなた
め池になった。これで用水も
安心、今年は一割増収だ」と、
喜びの笑顔でいっぱいとし
た。



19頭が若草をはむ

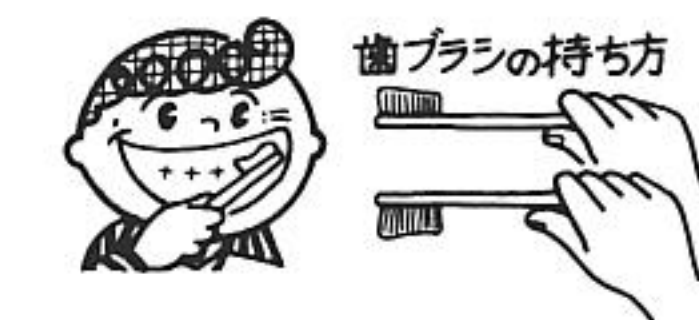
朴の木沢放牧場開放

八塩山のふもとにある町営
朴の木沢放牧場が五月十四日
開放し、肉用牛七頭、乳用牛
十二頭が放牧されました。

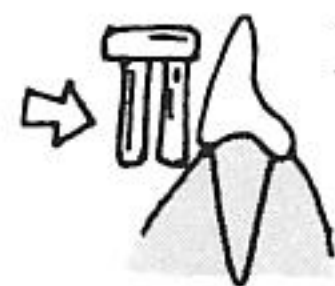
付き添って来た飼育農家の
手から放された十九頭は、緑
に覆われた広い牧場内を元氣
緑濃い若草をはむ放牧牛

よく走り回り、早速おいしい
若草を口にしてみました。
放牧場は、当初、乳用牛を
対象に開設したものです。し
かし、肉用牛についても、良
い繁殖牛をつくるには、特に
育成期に十分な運動と良質粗
飼料給与が大切とのことから
町では、両要件が満たされる
放牧場の利用を勧めています。
放牧牛は、この日から約半
年間、四牧区に分けられた広
さ八畝の牧場内を草の生育に
合わせて移動し、十月下旬に
は我が家に戻るようになって
います。
放牧料金は、育成牛一頭一
日当たり二百七十円で、放牧
期間中はいつでも入牧、退牧
ができます。放牧を希望する
方は、役場産業経済課又は看
視人の小松亀之助さん（石高）
に連絡してください。

歯と歯肉への 歯ブラシの当て方



歯ブラシの持ち方



1 歯ブラシの毛束の
横を歯と歯肉のつ
け根にあてる



2 1の位置から歯ブ
ラシの柄を約45度
ねじり、毛先の横
で歯肉を強く圧迫
する



3 ブラシの柄をねじ
り歯の先の方に向
かわせる。歯と歯
の間にも毛先を入
れてよく磨く

歯みがきを習慣づけよう

むし歯の予防に欠かせない
のが歯の「清掃」——歯をみ

がくことです。理想的には、
飲んだり食べたあとは

必ず歯をみがくのがいちばん
ですが、少なくとも寝る前の
歯みがきと、食事やおやつ
あとの「ブクブクうがい」の
二つは実行させたいものです。

前歯がはえ そろったら

水を含ませた清潔なガーゼ
や脱脂綿を指先にまきつけて、
歯の表面のよごれを軽くふき
とってやります。

二歳を過ぎたら

子供に歯ぶらしを持たせて、
自分でみがく練習を始めまし
ょう。お母さんもしっかりし
て。

お誕生日を 迎えたなら

お母さんのひざの上に寝か
せて小さなやわらかい歯ぶら
しで軽くこすって、よごれを
とりましょう。この場合、歯
みがき剤は、まだつけなくて
もかまいません。

三〜四歳を 過ぎたら

正しいみがき方のトレーニ
ング時期です。上の歯は上か
ら下へ、下の歯は下から上へ。
かみあわせ面は、小さな前後
運動で、かき出すようにみが
きます。

最初はみがき方にこだわらず、
自分でみがくという習慣づけ
に重点をおきましょう。ただ
し、極端な歯みがきだけはさ
せないように気をつけてくだ
さい。

成人病とは

成人病という病気は、肝臓病といった特定のひとつの臓器の病気をさすのではなく、成人してからの人びとの健康をおびやかす、ひいては死にいたらしめる病気を総称しています。そのなかには、脳卒中、がん、心臓病、糖尿病、肝臓病、腎臓病、高血圧、動脈硬化などが含まれます。

町死因の七割が成人病

若いうちから予防を

死因のトップは心臓病——町保健婦が取りまとめた昭和五十一年から五十六年までの町死因統計によると、死亡者総数は二百六十人で、約七〇％は心臓病、脳卒中、がん、いわゆる三大成人病であることが明らかになりました。

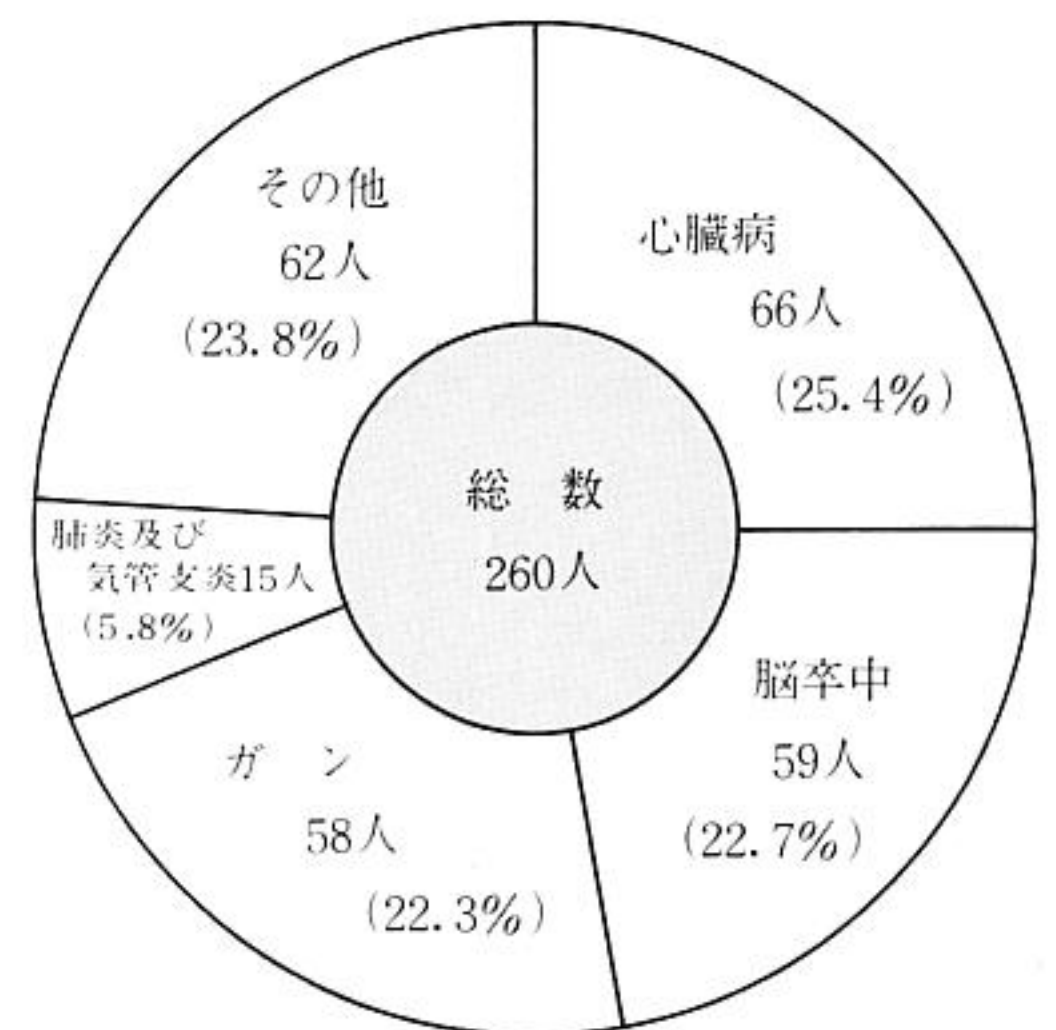
成人病は慢性病の一種で、中年を過ぎ

心臓病 三十年足らずで四倍に

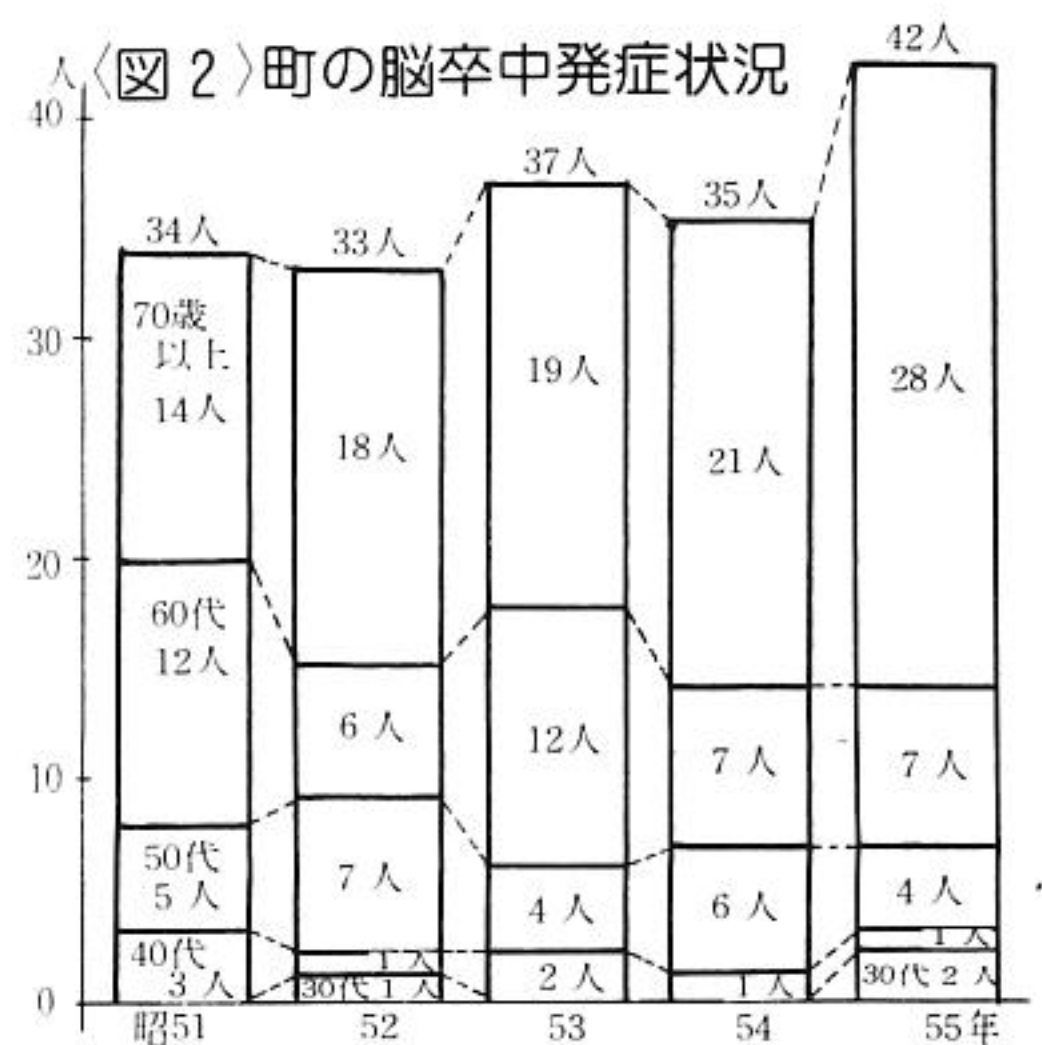
右の図1で示すとおり、過去五年間を集計した本町の死因一位は、心臓病六十六人で、全体の約四分の一を占めています。これまで、日本人の死因と

〈図1〉町の死因統計

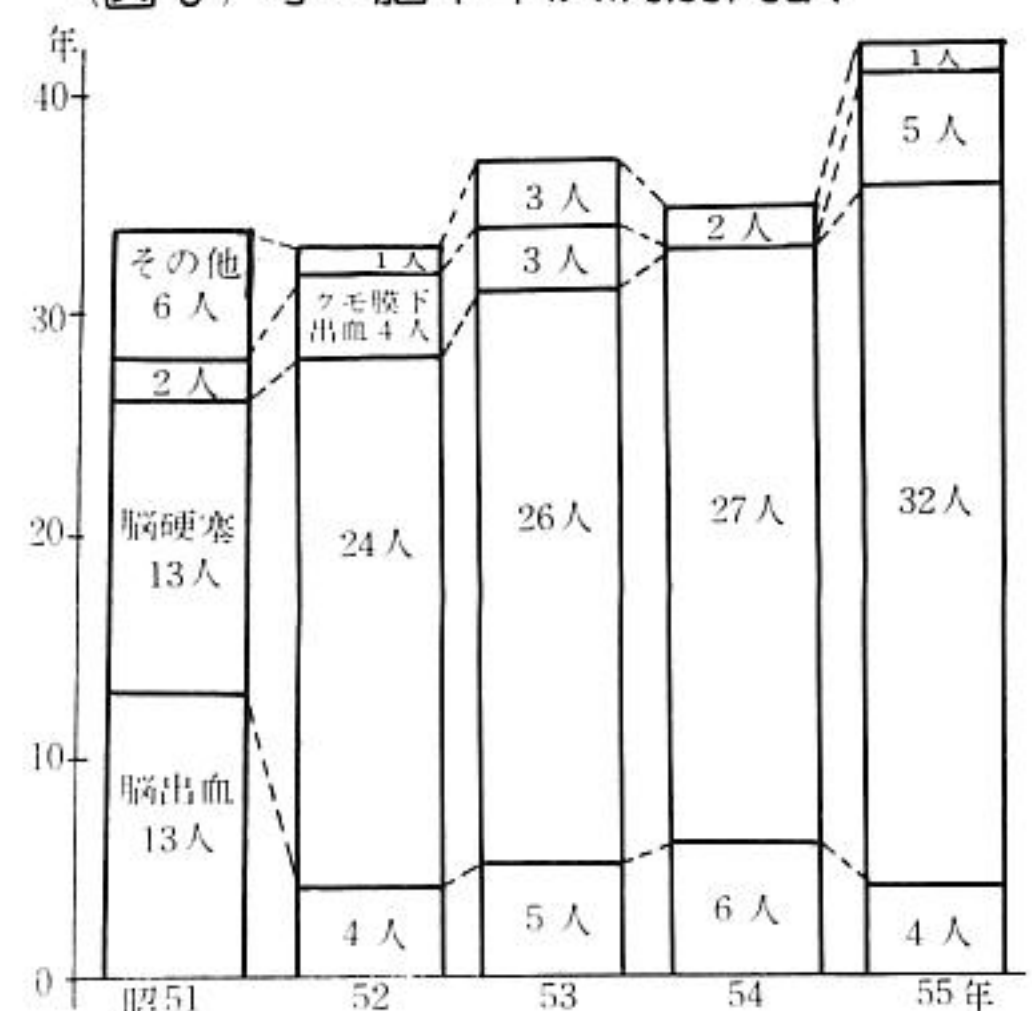
(昭和52年～56年集計)



〈図2〉町の脳卒中発症状況



〈図3〉町の脳卒中疾病別内訳



向が見られます。

ローマは一日にしてならずのたとえのように、成人病としての心臓病は、ある日突然つくられるものではありません。それは十年、十五年にわたる日常生活の中で徐々に形成されてくるのです。

したがって、成人病としての心臓病を防ごうと思ったら遅くとも三十代半ばからの養生や予防に対する心構えが大切です。

脳卒中 高血圧が動脈硬化を防ぐ

心臓病に次ぐ死因は脳卒中となっています。脳の動脈が破れたり、つまったりしてこの発作のことで、破れると脳出血、つまると脳梗塞となります。この二つは症状がよく似ているので、合わせて脳卒中と呼んでいます。

昭和五十一年から五十五年までの町脳卒中発症状況をみると、百八十一例中男女差はあまりみられません。八割が六十歳以上のお年寄りとなっています。しかし、三十代で発症している方もあり、若いからといって油断はできません。(図2参照)

また、疾病別にみると、脳梗塞が断然多く全体の六七・四％を占め、次いで脳出血、クモ膜下出血となっています。(図3参照)

脳卒中や狭心症、心筋梗塞などの発作は、高血圧、動脈硬化という土台があつて、そのうえに精神的緊張や急激な温度変化のなかに体をさらす睡眠不足や過労や急激な運動などのきっかけが加わった場合におこります。高血圧は動脈硬化をうながし、細動脈硬化にかかれば血

圧は高くなるなど、両者は密接な関係にあります。

したがって、高血圧が動脈硬化のいづれかを防ぐことが、脳卒中や心臓病の予防に結びつくと言えます。これには、日常生活での注意や、集団検診などにより、成人病やその基礎となる病気の早期発見、早期治療に努めることが大切です。

ガン 早期発見で百パー完治

町のガン発生状況を表したのが左の図4で、部位別に表したのが図5です。胃ガンは、日本が世界でトップの病気で、しかも、日本の場合、全ガンの半数近くが胃ガンです。最近では、肺ガンの発生が増えています。図5でみると、本町の場合も同じ傾向にあるといえます。



病気の早期発見のため、定期検診は是非受けてほしい

集検受診率が低下

健康で明るい生活を送るためには、日常生活上での注意はもちろん、病気の早期発見、早期治療が第一条件であるこ

／ガンは、初期の場合、痛みとか、かゆいとかいう自覚症状がほとんどありません。自覚症状が現れるのは、ガン細胞がある程度成長して「ガン」という病気に近づいてからのことです。

「と心を痛めがちです。ガンの発生原因などは、いまだ十分解明されていませんが、初期のうちにガンであることはつきりつかんでしまえばそれほど恐ろしい病気ではありません。できるだけ早く発見し、できるだけ早く手術をして、根こそぎとり除く

か放射線をあてガン細胞を焼き殺すことによつて、ほとんど百パーセント治ります。問題は早期発見です。これには定期的に検診を受けるしか方法がありません。くよくよしないので、定期検診を受けるのがまず第一。とりこし苦労はナンセンスです。

する傾向にあります。

自己感覚での判断は危険

とは改めて申すまでもありません。

ここで考えてみてください。

このため町では、働き盛りの人に多い成人病に焦点をあて▽循環器一次及び二次検診▽結核検診▽ガン予防検診などを実施しています。過去五年間の受診率の推移を表したのが左の図6です。

成人病は、前にも述べたとおり慢性病の一種であり、その特徴としては▽自覚症状が少ない▽ひとりで、いくつもの病気をもっていることが多い▽悪いのか悪くないのか、そのさかいがハッキリしないなどといったことがあげられます。したがって、自分

成人病予防のポイント

のポイント

死因の上位にある成人病

と脳卒中などのもことになる

「高血圧・動脈硬化・糖尿病」は、肥満と食塩をコントロールすることに、まず

重点を置きましょう。

日やすとしては、食塩を

一日一〇グラム（小さじ一・五杯程度）以下にして、野菜類を多く食べ、ストレスや精神的な不安をとりのぞいた日常生活が大切です。

肝臓、腎臓などの病気は、清潔な生活態度、いわゆる万病のもととなる「カゼ」の予防が基本的な条件でしょう。

このほか、成人病のきっかけをつくらないために、次の

一度のこうした検診は是非受けてほしいものです。

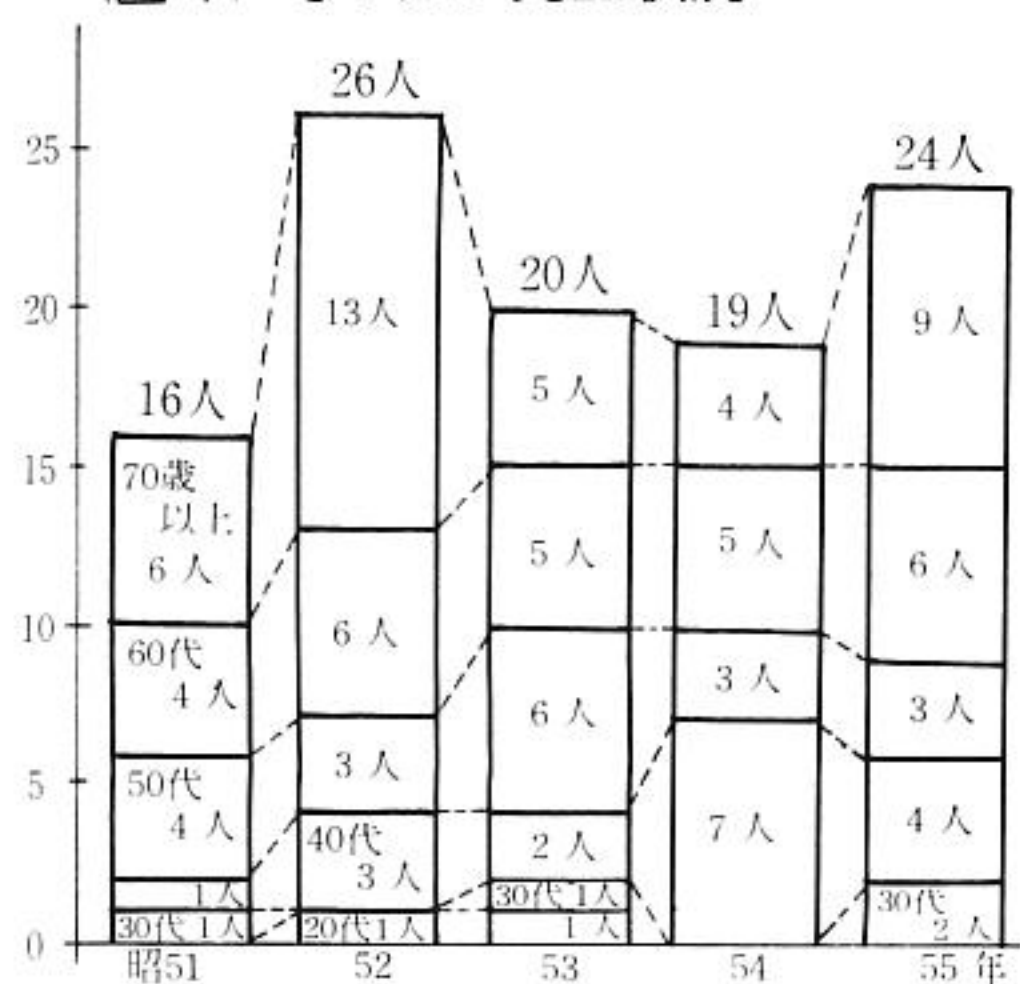
忘れてならないのは、成人病は若いときから兆し始まるということです。それが中年過ぎから表面化するわけで、若いときからの心がけと摂生の積み重ねが、その進行を選

らせるということなのです。その基本となるものは、やはり、成人病の原因となるような生活姿勢を少しでも少なくする

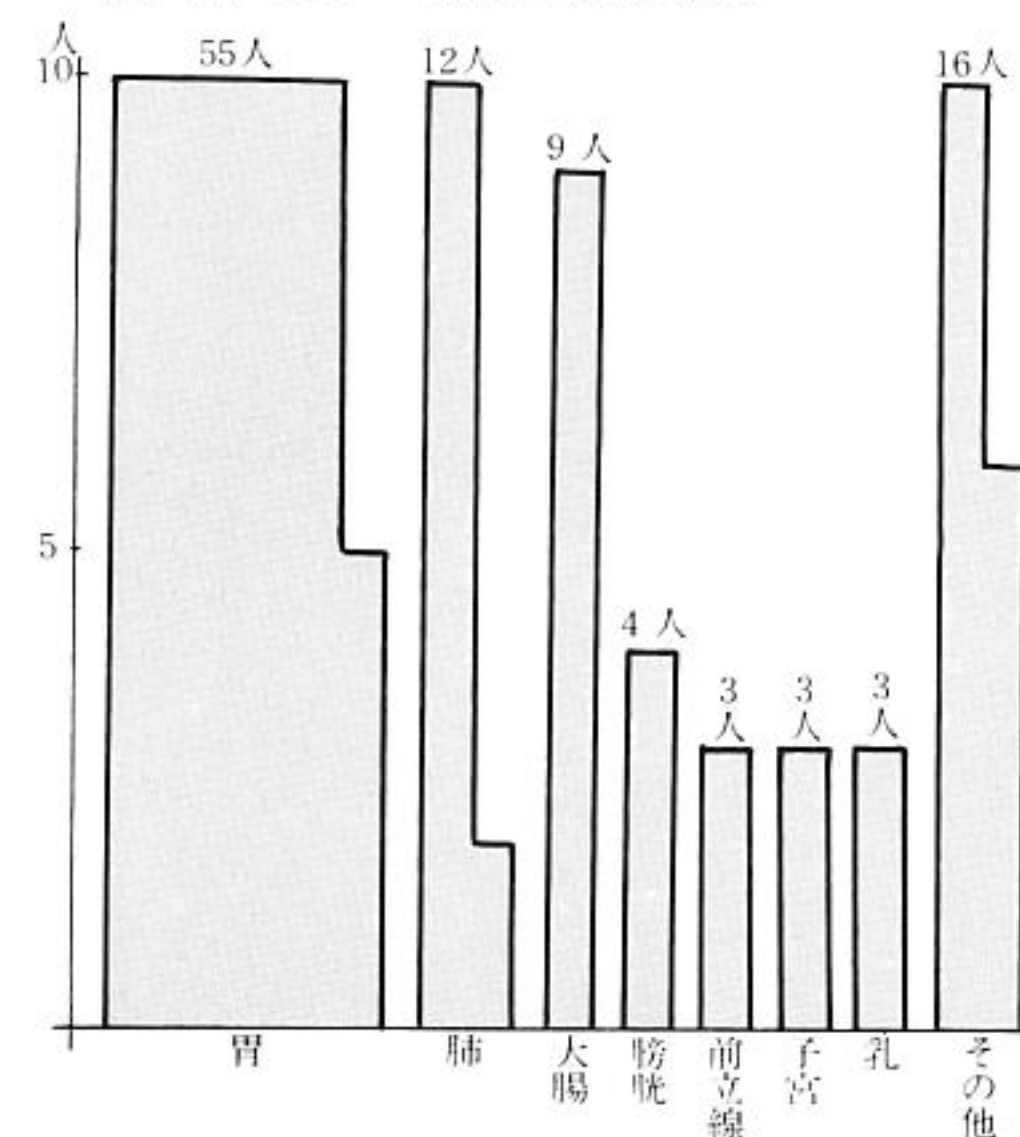
ことです。

いまや、日本は世界一の長寿国となりました。しかし、心身ともに健康でなければ、長生きの意味も半減するといえましょう。健康な成人期を長いあいだ維持し、老齢期を健やかに送るために、いま一度、日常生活を再点検し、成人病予防と健康づくりについて考えてみてはいかがでしょう。

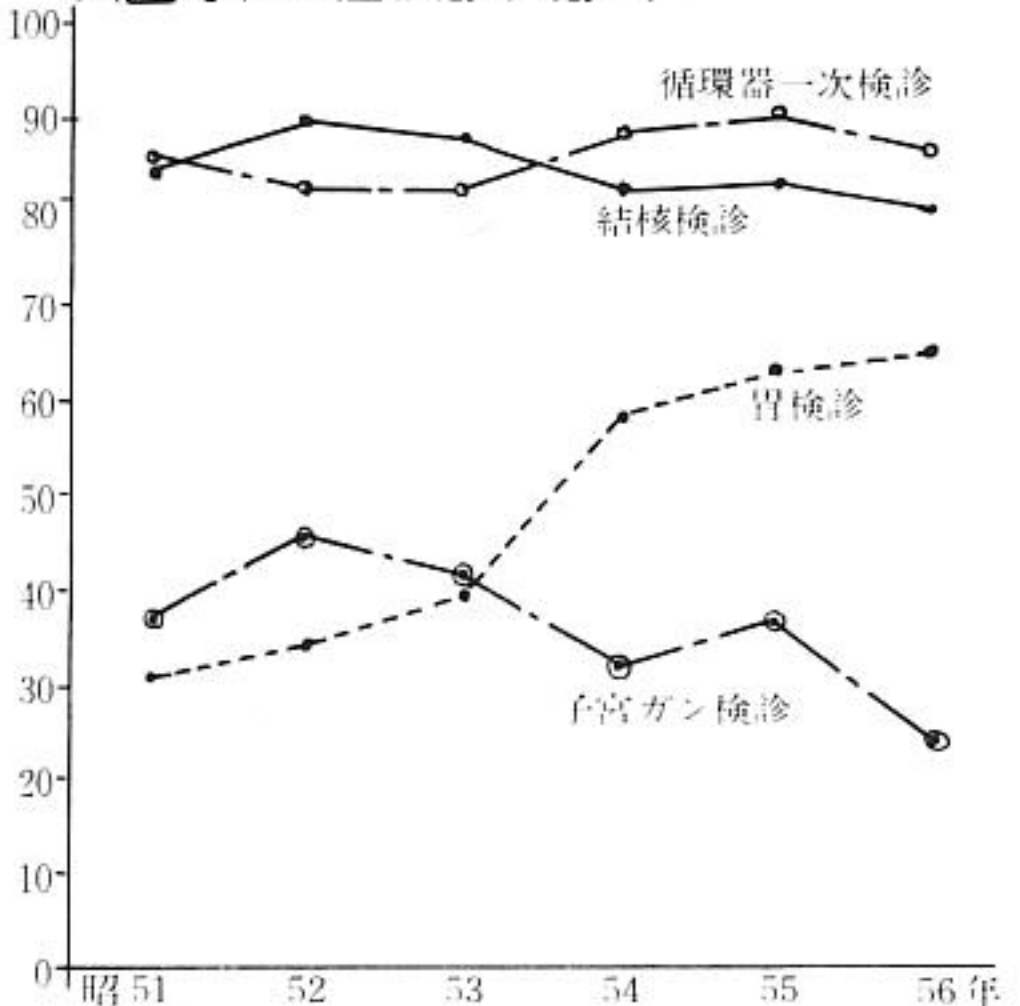
〈図4〉町のガン発生状況



〈図5〉ガンの部位別状況



〈図6〉各種検診受診率



住吉青年会が三連覇 第22回青年駅伝大会



三年連続トップでゴールテープをきる住吉の嶽石一人さん

町連合青年会が主催する青年駅伝大会は、今年も五月五日に行われ、青年会四チーム、一般一チーム、計三十人の選手が、六区間、二十九・八キロに健脚を競い合いました。

この大会は、在町青年のスポートシーズン開幕を告げる恒例行事として毎年同日に開催されており、今年で二十二回を数えます。

花曇りの絶好のコンディションの中で繰り広げられたレースは、三連覇を目指す住吉青年会が最初から飛び出し、終始他チームをリード、二位に三分の差をつけ、堂々三年連続優勝を果たしました。

しかしながら、参加チーム

数五は、過去最低で、伝統ある大会にしては、いまいと盛り上がり欠け、沿道で声援を送る町民や大会関係者からは、不参加青年会員の奮気を期待する声が出されていた。

成績等は次のとおりです。

《青年会の部》

一位 住吉青年会

1時間51分50秒

二位 宿走友会

1時間54分51秒

三位 蔵青年会

2時間4分43秒

《一般の部》

一位 高瀬チーム

2時間9分43秒

《区間一位》

一区(公民館→須郷田5.3km) 畠山浩(住吉) 19分8秒

二区(須郷田→八塩小臨時校舎前折り返し→高戸屋4.7km) 渡辺健二(住吉) 18分45秒

三区(高戸屋→島5.5km) 木島省吾(宿走) 20分7秒

四区(島→大琴5.3km) 佐藤幸輝(住吉) 18分13秒

五区(大琴→蔵小前4.8km) 長谷山順一(宿走) 17分9秒

六区(蔵小前→公民館4.2km) 小野清夫(宿走) 15分27秒

(敬称略)

東由利の地名

③ザラメキ

大琴下の墓地北側の、一の沢から流れてくる小川一帯の小字名である。

ザラメキは辞書によれば、石などのように粗くざらざらしていること。滑らかでないもののすれ合う音。手ざわりの滑らかでないさま。氷結してざらざらになった雪をざら雪というなどある。

ここは一の沢川が高瀬川に注ぐ段丘の低地で、今はほとんど水田になっているが、かつては土砂や岩石で

= 24 =

埋まっていた所と思われる。開田した水田の頃、岩石を十分除去できず、ざらざらした土だったり、はだしの足にざらめくことなどからの名でな

④セキネ

大吹川部落の奥、八塩山西

カタカナの地名②

側にセキネ(堰根)の小字がある。

現在は水田用のほとんどの水を、ポンプ利用で汲みあげているが、昭和三十年代までは木やしばを使って川を塞止め、水をひいていたものだった。しかし、大水によって材

料が流されるため、農家にとつては大きな負担だった。流れるものや通るものをさえぎり止めることをせきとめるといふが、ネは物の基礎となり、それを形づくる根本となる部分のいわゆる、根もと、つけ根である。したがって塞止・堰止と、そのつけ根であること。堰のはじまりであることからその名と思われる。

大吹川・袖山・舟打場の水田をうるおす川の根もとであることからセキネでないか。高瀬川に注ぐ部落が下吹というのも、大吹川と関係ありそうな気がする。

(文・畑山昭一)

少額貯蓄等利用者カードとは

昭和五十九年から①マル優・預金等②特別マル優

町長日記

大平スキー場を拡張整備したいという声が多い。昨年の実績から、ゲレンデの拡張、ロープトウの増設、道路、駐車場の整備、ヒュッテの新設等の要望であります。

観光施設の無い本町としては、大平の土地の条件を生かし、町外からの関心があるうちに、前記の条件を整備する必要があると考えます。

今、土地条件の整備を、土地所有者の御協力を得ながら計画中であります。ヒュッテは設計業者と話し合いをしております。事業費が当初予算に計上されていませんので、まず、スキー関係者の意見を聞いて、議会と協議をし、実現の方向に努力したい考えです。

関心のある方々の御意見をちょうだいしたいと思っております。

本年度は第三期の山村振興事業の実施の指定を受け

まして、本年度中に実施計画をたてなければなりません。(当初は二カ年の予定でしたが一カ年で)

第一期は、圃場整備、農業構造改善事業、台山代行路線等を柱にし計画事業費十六億五千万円、実施率一〇〇%。第二期は山村開発センター等を柱にし計画事業費四十八億三千九百万円、実施率九四%でした。

現在、本町の各整備計画は、圃場整備は百%近く実現され、道路及びその他重点施策もかなりのウェイトで実現をみております。第三期計画は、これらを総括し、さらに町民の身近な問題をとり上げなければならぬと考えます。

先日、自治会長さんに依頼し、町内三百六十二名の方(うち百八十一名は青年)に第三期山村振興事業に対するアンケートを求めていますので御協力をお願いします。

「少額貯蓄等利用者カード」(少額貯蓄等利用者カード)が必要になります。詳しくは、最寄りの税務相談室や税務署へおたずねください。(本庄税務署)

6月のこよみ

陰暦異名・水無月(みなづき)
誕生花・姫ゆり(変らぬ愛らしさ)
誕生石・真珠(パール)(健康)

曜 日	行 事
1 火	自治会長研修(岩手県)
2 水	三歳児健康診査(有鄰館)
3 木	
4 金	乳児健診(有鄰館)、民生委員協議会(朋楽荘)
5 土	
⑥ 日	町民登山(八塩山)
7 月	ことぶき大学
8 火	町過疎対策協議会(有鄰館)
9 水	ツベルクリン反応検査(有鄰館)
10 木	リハビリ学級(有鄰館)
11 金	BCG 予防接種
12 土	
⑬ 日	
14 月	結核・循環器第1次検診(～18日)
15 火	
16 水	
17 木	
18 金	
19 土	固定資産税(1期)督促状発送
⑳ 日	
21 月	結核・循環器第1次検診(～25日)
22 火	
23 水	
24 木	敬老会(有鄰館、黒淵・田代・館合・老方地区)
25 金	敬老会(有鄰館、蔵・法内・宿・袖山地区)
26 土	
㉑ 日	家庭バレーボール大会、消防操法講習会(台山)
28 月	母親学級(有鄰館)、農業委員会
29 火	
30 水	畜産共進会(上の代) 三種混合・二種混合予防接種
摘 要	30日 町県民税(1期)納期限 1日～7日 かけ崩れ防災週間 下旬 議会定例会招集

献血ありがとう

62名の方がご芳志

県移動献血車、あかつき号が四月三十日米町、町内五カ所で次の六十二名の方々から尊い血液の提供を受けました。

関係者は、この善意の献血にご協力くださった方々に対し心から感謝しています。

〔大蔵館前〕 遠藤多喜夫、佐藤邦久、石渡博一、遠藤弘子、遠藤直志(以上五名)

〔農協玉米支所前〕 高橋富男、菊地ハル子、小野賢治、畑山タキ子、小松修一、畑山玲子、小松愛子、吉田悦子、小松やえ子(以上九名)

〔役場前〕 畠山栄雄、小野肇、守屋正、大場義信、阿部寿夫、遠藤信弘、遠藤富雄、工藤良、佐々木日出夫、猪股寿和、梅津栄一、高橋美栄子、嶽石イツ、遠藤ノリ、遠藤誠

功、高橋政一、嶽石文弥、石渡博澄、佐藤公男、高橋孝紀、佐々木富夫(以上二十一名)

〔本庄高校下郷分校前〕 渡辺盛、八島篤、畠山明、工藤辰也、小松清和、小松友一、阿部達也、長谷山智行、小野美智夫、鈴木美代子、佐藤恵利子、石橋万里子、斎藤あつ子、佐藤隆子、猪股瞳、小野弘三(以上十六名)(敬称略)

東北電力 防犯灯寄贈し 無料で配線点検

防犯、交通事故防止などに役立ててください。一と五月十八日、東北電力(株)本庄営業所では、春のサービス旬間にちなみ、今春も水銀防犯灯一基を寄贈してくれました。

町では、早速泡の刈集落内に取り付け、地域の安全に役立てることにしました。



小松助役に寄贈目録を手渡す 鎌田配電課長(左)

おしらせ

町の概要

人口総数 6,267人
うち男 3,092人
うち女 3,175人
世帯数 1,438戸
面積 148.51km²
(57.4.30現在)

次のあかつき号米町は九月二十四日に予定され、今回以上の多くの協力が期待されています。

〔大蔵診療所前〕 渡辺秀雄、長谷山節男、佐々木繁一、浅田一夫、鈴木博、横山一郎、佐藤君栄、佐々木邦夫、佐々木昌之助、工藤太一、浅田誠(以上十一名)

〔大蔵館前〕 遠藤多喜夫、佐藤邦久、石渡博一、遠藤弘子、遠藤直志(以上五名)

〔農協玉米支所前〕 高橋富男、菊地ハル子、小野賢治、畑山タキ子、小松修一、畑山玲子、小松愛子、吉田悦子、小松やえ子(以上九名)

〔役場前〕 畠山栄雄、小野肇、守屋正、大場義信、阿部寿夫、遠藤信弘、遠藤富雄、工藤良、佐々木日出夫、猪股寿和、梅津栄一、高橋美栄子、嶽石イツ、遠藤ノリ、遠藤誠

功、高橋政一、嶽石文弥、石渡博澄、佐藤公男、高橋孝紀、佐々木富夫(以上二十一名)

〔本庄高校下郷分校前〕 渡辺盛、八島篤、畠山明、工藤辰也、小松清和、小松友一、阿部達也、長谷山智行、小野美智夫、鈴木美代子、佐藤恵利子、石橋万里子、斎藤あつ子、佐藤隆子、猪股瞳、小野弘三(以上十六名)(敬称略)

東北電力 防犯灯寄贈し 無料で配線点検

防犯、交通事故防止などに役立ててください。一と五月十八日、東北電力(株)本庄営業所では、春のサービス旬間にちなみ、今春も水銀防犯灯一基を寄贈してくれました。

町では、早速泡の刈集落内に取り付け、地域の安全に役立てることにしました。

6月7日は
「計量記念日」

計量で見直す

暮らしの見えぬムダ

これくらいならと見過ごしていませんか？計る習慣をつけましょう。

善意

また、同所では、五月二十四日に町内の一人暮らし老人宅を訪れ、無料で電気配線点検をし、喜ばれました。

○小野ムネヨさん(上里) 老方小へ雑巾100枚

○町連合婦人会老方支部(長谷山シゲ支部長) 老方小へ雑巾105枚

慶弔だより

4月21日～5月20日届出分

〇うぶ声

阿部寿史 野田 義夫 長男
小松春樹 湯出野 健 二男
佐藤敬幸 黒淵 敬一 三男
小松裕介 上通 信行 長男
小野ひろみ 高屋 廣雄 二女
小松洋幸 石高 洋 長男

〇結婚

小松俊也 松柴 俊一 長男

渡辺 要 館新田
坂上 美和子 本莊市
大坂 幸基 築新田
佐藤 照子 寺田
八嶋 浩 黒淵
黒沢 幸子 鹿角市
佐藤 力弥 宇戸坂
柴田 由美子 雄物川町
高沢 信夫 高屋
小野 京子 大琴
佐々木 喜隆 下小屋
小野 敦子 新町
長沼 久利 築新田
高橋 貞子 大琴
大日向 和弘 山形県
秋葉 直美

・お悔み申し上げます

畠山チエミ 袖山 63歳
菊地喜一郎 宇戸坂 62歳

統計で見るわが町 ①

総面積

市町村名	順位	指標
鹿角市	1	707.12km ²
県平均		168.28
角館町	31	157.73
東由利町	32	148.51
雄和町	33	145.02
八郎潟町	69	15.62

可住地面積

市町村名	順位	指標
秋田市	1	172.89km ²
県平均		43.57
神岡町	49	28.32
東由利町	50	27.80
由利町	51	27.78
金浦町	69	11.07

昭和55年10月1日・国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」

(注) 1. 八郎潟の面積(36.36km²)は県計には含まれるが、地域計には含まれない。
2. 県平均は、69市町村の算術平均

昭和55年10月1日・国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」

(注) 県平均は、69市町村の算術平均
▷算式…可住地面積=総面積-(森林面積+原野面積+主要湖沼面積)



写真と文字

収集に
協力を

町公民館では、時代とともに大きく変わりゆく東由利町の現状を写真に残し、記録するため、町写真同好会の協力を

なつかしい馬耕

《遠藤忠一郎さん(館西)提供》

公民館のひろば



ちほ

を得て、「ふるさと写真集」の発刊を計画しています。

写真集は、昭和五十九年の印刷、刊行をめぐりに昨年からの古い写真の収集、複製作業をすすめています。

これまでにたくさんの方々からご協力をいただき、数百枚におよぶ複製を行っておりませんが、まだまだ古い貴重な写真が所蔵されているものと思われれます。

東由利の人々の生活や風俗の歴史の変遷を顧みる貴重な財産として後世に引き継いでいくために、収集へのご理解ご協力をお願いします。

町民登山

第四回町民登山（八塩山）を次により実施します。多数ご参加ください。

とき 6月6日(日)
集合 9時まで

その他 昼食持参。

登山のできる
服装で。

※決行の場合は、午前七時にのろしを上げます。雨天の場合

合は延期します。

おしらせ

家庭バレーボール大会

有志チームによる家庭バレーボール大会を次により実施

町民グラウンド
横渡グラウンド
の使用

町民グラウンドが整備され
野球場としての機能がいちだ
んと拡充されました。また、
横渡グラウンドについても、先
ごろ電気導入や、給水施設を

横渡 グラウンド	町民 グラウンド	施設名
蔵分館 (分館長)	本荘高校 下郷分校	管理主体
3451	2420	TEL

整備しました。

それぞれのグラウンドを利用したい方は管理主体に連絡してください。

利用にあたっては、使用後の整備を必ず行うとともに、ゴミは持ち帰るよう心がけ、みんなが気持ちよく利用できるようお願いします。



町民グラウンド



6月20日は家庭の日

ところ 東由利中体育館
時間 午後1時から4時
半まで（開場は12時）無料

海外研修

秋田県では昭和五十七年度
秋田県海外研修事業の参加者
を募集しています。

社会教育	商工青年	部 門	
10 / 3 ～ 10 / 16 (14日間)		期 間	
25 ～ 56 歳	30 ～ 46 歳	対 象 年 齢	
デンマーク スウェーデン イギリス 外	デンマーク ドイツ イギリス 外	訪 問 国	
円 250,000	円 250,000	県	経 費 負 担
220,000	220,000	町	
316,000	312,000	本人	

参加を希望する方、詳しい日まで町公民館にご連絡ください。

分館役員
決 ま る

五十七年度の分館役員が次のように決まりました。

分館は地域のみならず、盛りに上げていくものです。みなさんの協力をよろしくお願いします。

山分館	宿分館	法内分館	蔵分館	老方分館	玉米分館	吉住分館
分館長 主事	分館長 主事	分館長 主事	分館長 主事	分館長 主事	分館長 主事	分館長 主事
畠山秀夫	遠藤聚一	阿部重助	伊東一夫	中津川辰夫	遠藤常雄	小松幸男
武田秀夫	遠藤基	佐藤清一	畑山昇三	佐藤俊一	小松義嗣	小松佳和
小野 勲	佐々木日出夫		石渡力造		遠藤 繁	横山 玉一